

第6回日本医療研究開発大賞について

1. 趣旨

- 医療分野の研究開発の推進に多大な貢献をした事例に関して、功績を称えることにより、国民の関心と理解を深めるとともに、研究者等のインセンティブを高めるための賞。
- 「健康・医療戦略（閣議決定）」の下、2017年度から表彰を行い、これまでに5回実施。
- 今回から新たにスタートアップ賞を追加し、第6回目の大賞の表彰を行う。

2. 表彰の種類

● 内閣総理大臣賞 1件

極めて顕著な功績が認められる事例

● 健康・医療戦略担当大臣賞 1件

特に顕著な功績が認められる事例

● 文部科学大臣賞 1件

科学技術・学術の振興の視点から特に顕著な功績が認められる事例

● 厚生労働大臣賞 1件

社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進の視点から特に顕著な功績が認められる事例

● 経済産業大臣賞 1件

経済及び産業の発展の視点から特に顕著な功績が認められる事例

● スタートアップ賞（健康・医療戦略担当大臣表彰） 1件

スタートアップとして特に顕著な功績と将来性が期待される事例

● 日本医療研究開発機構（AMED）理事長賞 5件

若手研究者等を奨励する観点から顕著な功績があったと認められる事例

※上記のほか、スタートアップ奨励賞も5件選定し公表

3. 選考

- 公募への応募案件（一般枠29件、SU枠50件）※の中から、2回の選考委員会で選考。 ※AMED理事長賞は、AMED支援案件の中からAMEDが候補案件を推薦

＜選考委員会＞ 永井 良三（自治医科大学学長）【委員長】

木村 廣道（東京大学特任教授）

小柳 智義（京都大学病院特定教授）

辻 篤子（中部大学特任教授）

鄭 雄一（東京大学教授）

宮園 浩平（東京大学卓越教授）

松本 吉郎（公益社団法人日本医師会会長）